

## 会 議 録

会議の名称	平成30年度第2回茨木市環境審議会
開催日時	平成31年2月27日（水） <del>（午前）</del> 午後） 11時20分 開会 <del>（午前）</del> 午後） 11時50分 閉会
開催場所	安威川ダム資料館
議 長	三輪 信哉
出席者	石山 郁慧、岩淵 善美、久米 辰雄、玉井 昌宏、天保 好博、 増田 悦子、三上 雅弘、三輪 信哉、武蔵野 實、山田 俊一 【10人】
欠席者	奥野 美鈴、前迫 ゆり 【2人】
傍聴人	0人
事務局職員	松山環境政策課長、 井澤環境政策課主幹兼政策係長 福本環境政策課職員 【3人】
開催形態	公開
議題・報告	1 議題 （1）茨木市北部地域の現状について
配布資料	なし

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	1 開会
会長	1 審議会の成立の確認  本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いしたい。
事務局	本日は12名の委員のうち、10名に出席いただいている。
会長	本日は10名の委員が出席しているので、環境審議会規則第3条第2項により会議は成立している。
	1 議題
会長	それでは議題に入る。本日の議題である「茨木市北部地域の現状」について、今回の見学会を通して、ご意見、ご感想等があれば、お願いしたい。
A委員	これまで本審議会では安威川ダム、新名神高速道路など北部地域の開発について議論していなかった。これらの開発によって、周辺環境の変化が大きいように感じた。今後は、本審議会に対して、開発に関する情報提供をお願いしたい。
B委員	かつて北部地域を見たときと比較して、大きく地形や植生が変化している。変化の記録を残すことが重要である。ダムについては、安心できる面もあるが、近年の異常気象から、100年に一度以上の降雨や想定外の長雨なども考えられる。安威川ダム完成後も、万一に備えた住民への注意喚起が必要である。  新名神ビオトープについては、未来を担う子どもたちの環境学習の場として活用してもらいたい。
C委員	北部地域の開発のキーワードに、人にやさしい、環境にやさしいという文言を拝見するが、具体的に何が該当するのか分からない。開発後は、自然の再生までは見届けてくれない。

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
D委員	<p>新名神ビオトープは、維持管理する後継者が不足していくと思われるので、新たな若者の参画につなげるため、養成なども行うべきだと思う。</p> <p>今まで北部の開発地域を間近で詳しく見ていなかったため、開発地域の広さに驚いた。この10年で緑の面積が減ってきている。北部の開発は、市街地にも影響がある。市民もこのような現状を知らない方が多いと思われるので、周知する必要があるのではないかと。</p>
E委員	<p>安威川ダムについて、例えば保水力でも、計画した時点でのシミュレーションと現状では違う土地利用になっている可能性があるため、再度チェックする必要性を感じる。</p> <p>平成30年7月豪雨では、ダム操作に関連して死者も発生していることから、晴天時に実施されるフラッシュ放流についても、安全への配慮をお願いしたい。</p> <p>技術系の人間として、安威川ダムに小水力発電を設置することを検討していただきたい。</p>
D委員	<p>北部地域の開発はそれぞれ場所が離れているが、環境面で連携しながら開発しているのか確認をお願いしたい。</p>
F委員	<p>安威川ダム建設など大規模開発については記録をしっかりと残し、今後の参考となるようにしてもらいたい。また、子ども向けの冊子を作成するなどし、子どもにも伝える必要がある。</p>
G委員	<p>安威川ダムが治水のために建設していることを初めて知った。様々な方法で市民に周知していく必要性を感じた。</p>
H委員	<p>昭和42年の北摂豪雨による洪水氾濫を体験した一人として、安威川ダムの建設は、安心して日々の生活を送れる治水というプラス面がある。他にも、動植物の生態系保全やフラッシュ放流計画などが行われている。</p> <p>しかし、ダム周辺部の自然環境への影響や、ダム治水能力には限界があるといったマイナス面もある。プラス面とマイナス面の両方を市民に伝える必要がある。 マイナス面は、改善していくように努力をお願いしたい。</p>

## 議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
I 委員	<p>安威川ダムでは比較的小規模の移転で済んでいるようだが、他地域では大規模な移転もある。この段階で改めて移転者向けに、意見交換や情報交流などのフォローアップを行う必要があるのではないか。</p> <p>新名神ビオトープは、夏の姿も見てみたい。</p>
会長	<p>茨木市にとって、北部地域の開発が大きなファクターであることを実感した。今後も、長いスパンで注視していく必要がある。</p> <p>年次報告書「いばらきの環境」でも、北部地域についての記事は、掲載し続けてもらいたい。</p> <p>1 閉会</p>